

関東運輸局プレスリリース

平成 30 年 5 月 16 日

**クルーズ船に対してポートステートコントロール（PSC）****を実施し、船舶の安全を確認しています**

関東運輸局では、横浜港に入港したクルーズ船 MSC SPLENDIDA（エムエスシー スプレンドィダ）（船籍パナマ、総トン数 137,936 トン、旅客定員 4,363 人）に対して、5 月 15 日（火）にポートステートコントロール（PSC）を実施し、同船が船舶の安全・環境に関する国際基準に適合していることを確認しました。

国土交通省を中心とした観光立国やクルーズ振興に関する取り組みの結果、横浜港に入港する外国船籍のクルーズ旅客船は、2017 年（平成 29 年）は延べ 59 隻となり、前年比 18 隻増と年々急増しています。

新規航路の開設も多く、2018 年（平成 30 年）では 7 隻のクルーズ船が横浜港に初入港する予定となっています。

国際連合の専門機関である国際海事機関（IMO）では、旅客船タイタニック号の遭難を契機に船舶の安全・環境に関する国際基準を策定しており、関東運輸局では、入港する外国船舶に対して、この国際基準に適合しているかどうかを立入検査して確認する外国船舶監督（ポートステートコントロール（PSC））を実施しています。

大勢の旅客が乗船する外航クルーズ客船については、特に人命の安全を確保する必要があるため、関東運輸局では、国内に初入港する外国船籍のクルーズ船については、優先的に PSC を実施して安全を確認し、もって健全なクルーズ振興に資することとしています。



MSC SPLENDIDA（エムエスシー スプレンドィダ）

**問い合わせ先**

関東運輸局 海上安全環境部 外国船舶監督官

担当：小倉、石川

電話：045-211-7264 Fax：045-201-8794

配布先：横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、  
物流専門紙